

## 建築設計演習 (Architectural Design Studio IV)

担当教員名	八木 雅夫、神家 昭雄、工藤 和美、山口 晃壽、森崎 輝行	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 4年 通年 6単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	基礎工学科目 設計・システム系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-2(55%) E-1(10%) F-1(35%)
	JABEE基準1(1)	(d)(e)(f)
科目の概要	建築設計演習IVは、同時並行的に学習している計画、環境、構造分野の専門科目で得られた成果を総合化し、まとめあげる基礎的能力を育成することを目標としている。建築設計に関して学んできた基礎的事項を活かし、機能的にやや複雑な建築物や都市的スケールの空間設計演習を実施する。課題対象となる建築や空間の社会的位置づけや発展過程等を学び、各学生が望ましいと考える設計の方向性を絞り込んでいく学習のプロセスを多様な情報により支援する。併せて、計画、環境、構造分野の技術的な点検を行っていく。	
テキスト(参考文献)	演習課題の内容に応じて適切な資料を印刷し配布する。	
履修上の注意	日常から建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を自主的に実践し、独創的な発想を育成するとともに、建築設計に有効な手法や態度を学びとる。	
科目の達成目標	(1)計画、環境、構造分野の専門科目で学習した知識を総合化し、CADを活用しながら建築物の基本設計図または詳細図としてまとめ、表現する基礎的な能力を修得する(学習教育目標(D-2))。 (2)建築設計に関して学んできた基礎的な知識を活かし、機能的にやや複雑な建築物や都市的スケールの空間の設計技法を修得する(学習教育目標(F-1))。 (3)建築設計としてまとめた提案内容を日本語でわかりやすく表現し、質疑意見に対して討論できる能力を修得する(学習教育目標(E-1))。	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外に次の自己学習が必要である。1)課題内容を的確に理解し、設計のプロセスを自主的に進めること。2)建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を実践する。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	達成目標(1)と(2)各課題に対して提出された設計作品および途中経過の成果について、設計作品(70%)と設計過程の中間に提出する草案(エスキス)(20%)、設計過程で各学生がまとめるフォリオやレポート(10%)により、各達成目標ごとに項目を分けて評価する。 達成目標(3)エスキスや完成した設計課題作品について発表、講評の機会を設け、発表(100%)を評価する。 成績は上記(1)を55%、(2)を35%、(3)を10%ずつで評価し、総合評価として60%以上達成したものを合格とする。	
連絡先	yagi@akashi.ac.jp	kkudoh@akashi.ac.jp

授業の計画・内容	
第1週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その1 および 第2課題に関する説明</b> 内部機能の設定に自由度を加味した設計課題の意義と課題内容に関する説明。計画敷地を踏査、実測により確認し、設計条件を理解する。
第2週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その2</b> 草案(エスキス)作業-教員の指導を受けながらいくつかの案を提示し、まとめる。 草案作成作業と並行してCAD(VectorWorks)の3次元表現技法を学習する。
第3週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その3</b> CAD(VectorWorks)を利用した設計作業I-設計条件との整合性を確かめながら主に2次元で表現される図面を進める。
第4週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その4</b> CAD(VectorWorks)を利用した設計作業II-主に2次元で表現される図面の完成度を高め、表現を充実させる。
第5週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その5</b> CAD(VectorWorks)を利用した設計作業III-設計条件との整合性を確かめながら3次元で表現される図面の作業を進める。
第6週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その6</b> CAD(VectorWorks)を利用した設計作業IV-設計条件との整合性を確かめながら各図面の配置や表現を考え、設計作品を完成させ、提出する。
第7週	<b>第1課題「明石高専キャンパスギャラリーの設計」その7</b> 講評会の開催。各学生が各作品についての説明を行い、講評に参加する。
第8週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その1</b> 全国高専デザインコンペティションの概要と競技設計の課題内容を説明する。作業計画の立案を行う。 第1課題の修正指摘部分の手直しを行う。
第9週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その2</b> 課題を選択し、草案作成に必要な資料や情報を図書資料やインターネットにより入手する。
第10週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その3</b> エスキス作業-選択した課題の草案作成を進める。草案作成の過程で担当教員と意見交換を活発に行う。
第11週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その4</b> 草案(エスキス)の提出。エスキスの講評会を行う。CAD(VectorWorks)を用いた図面作業に着手する。
第12週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その5</b> 課題作品設計作業-課題条件との整合性を確認しながら図面作成を進める。
第13週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その6</b> 課題作品を提出条件に従った様式で完成させ、提出する。
第14週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その7</b> 講評会を行い、問題のある部分を明確にする。学内選考に応募に備え、改善する。
第15週	<b>第2課題「全国高専デザインコンペティション競技設計課題」その8</b> 応募予定作品の手直しをおこなう。
<b>期末試験実施せず</b>	

授業の計画・内容	
第16週	<b>第3課題「RC造建物の詳細図の作成と設計」その1</b> 鉄筋コンクリート造建物の詳細図作成に関する講義を行う。Vector Worksを利用した詳細図設計作業Ⅰ-平面詳細図の作図を進める。
第17週	<b>第3課題「RC造建物の詳細図の作成と設計」その2</b> Vector Worksを利用した詳細図設計作業Ⅰ-平面詳細図の作図を進め、完成させる。
第18週	<b>第3課題「RC造建物の詳細図の作成と設計」その3</b> Vector Worksを利用した詳細図設計作業Ⅱ-矩計図(断面詳細図)の作図に着手し、平面詳細図との整合性に注意しながら作業を進める。
第19週	<b>第3課題「RC造建物の詳細図の作成と設計」その4</b> Vector Worksを利用した詳細図設計作業Ⅲ-矩計図(断面詳細図)の作図を進め、完成させる。
第20週	<b>第3課題「RC造建物の詳細図の作成と設計」その5</b> Vector Worksを利用した詳細図設計作業Ⅳ-立面詳細図を作図し完成させる。図面全体の整合性を確認し、提出して点検を受ける。
第21週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その1</b> まちづくりおよび集合住宅に関する講義。
第22週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その2</b> 課題説明。敷地環境と建築法規制に関して情報収集を行う。草案(エスキス)作業に着手し、計画設計に必要な情報を収集する。
第23週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その3</b> 建築のおよその規模を定め、日影規制の点検を行う。草案の完成度を高めながら、指導教員との意見交換を活発に行う。エスキスを完成し提出する。
第24週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その4</b> エスキスの講評会を開催し、草案の手直しを行う。CADによる設計作業を開始する。
第25週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その5</b> CADによる設計作業Ⅰ-敷地内での配置、建築の構成をまとめる。
第26週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その6</b> CADによる設計作業Ⅱ-空間構成を明らかにした平面図、断面図等をまとめる。
第27週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その7</b> CADによる設計作業Ⅲ-配置図、平面図、断面図、立面図等をまとめ、各図面間の整合性を確認する。
第28週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その8</b> CADによる設計作業Ⅳ-外観や景観設計を行う。CGによる図の採用で表現を充実する。
第29週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その8</b> CADによる設計作業Ⅴ-設計図全体の完成度を高め、完成し提出する。
第30週	<b>第4課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その10</b> 講評会を開催し各学生が作品内容を説明する。修正が指摘された部分について手直しを行う。
期末試験実施せず	